

保護者総会 3/24(土) 25(日)

AM 10:00~11:40 講義棟1F

◎ 3 学期実力テスト分析

〔永井オーナー〕

- 受験テクニックを伝授するスライドを作成

〔清水館長〕

- 現場の声

中 3 内申確定、本番に最高の発揮力を！

中 2 実力テストに対応する受験勉強のスタートを

中 1 学年末テストで自己ベスト更新を… 他

- 症例検討 中 2 生

入塾後に 1 ランクUP を実現した症例

- 学力アップ memo・今月の名言

〔神吉事務長〕

- 兵庫県入試解説『水溶液とイオン』

- 新作教材 1 月は、15 単元！ 他

特集！ 山中先生の Laos 研修 体験 Report

医療質問『脳卒中と誤嚥性肺炎』

いくせい塾の理念「有るものを活かす」は、「もったいない」の精神にも起因していると思います。最近では、日本を代表する文化として、世界的にも有名な精神の一つになっています。できるだけ、「もったいない」を減らし、「有るものを活かす」方向性に価値を感じています。

テスト分析においても、「もったいない！」の続出です。往々にして、若者は前進を好み、振り返りを好まない人間に観えます。前進を好む志向を、応援することを大前提に、あまり好まない振り返りをすることによって、**効率的な進み方**が可能になる知恵をできるだけ伝承したい所存です。

ワーク演習においてももしかりです。どしどし進むのは良いのですが、「なぜ間違えたのか」「正解するためのポイントは何なのか？」を、その場で書き留める習慣をつけたいものです。テストだけでなく、日常生活において、「〇〇はどうだった？」「今日、良かったことある？」など、**元気の出る振り返りトーク**をご家庭でも工夫されると、振り返り自体が日常的になり、学習においても反省→分析→改善プラン実践のサイクルが、スムーズになる可能性が高まるのではと考える今日この頃です。（塾長 清水）

**達成テスト**

中 2 『確率』『受動態』

2/3 (土)~7(水)

中 1 『資料の整理』『過去形』

2/6 (火)~9(金)

小 6 『正負の数』

2/27 (火)~3/2(金)

石野亜依先生のコメント
甲南女子大学 社会学部 卒業

新年が始まり一か月が経ちました。今年は例年になく大寒波で寒い日が続いています。インフルエンザも大流行していますが、みなさん体調を崩していませんか。

新年を迎えて今年の目標を立てたと思いますが、達成に向けて少しずつ行動できていますか。月日が経つのはあっという間です。一日一日を大切に、初心を忘れずに居たいですね。

「塵も積もれば山となる」ということわざがありますが、みなさんは何か継続して取り組んでいることはありますか。例えば、一日に単語を五個覚えたと、一週間で三十五個、一か月で百五十個覚えられます。どんなことでもいいので、これだけはやるということを自分で決めて、わずかなことでも積み重ねることを疎かにせず、日々の生活の中で隙間時間も有効に使っていきましょう。

期末テスト対策

過去問模試 2/14 (水)

基礎復習 15(木)~16(金)

BD 解説 16(金)~17(土)

自習棟 O.S. 14(水)~22(木)

(注意) お迎えご苦労様です！

- ・安全のため、**出口すぐ前は駐車しない**で下さい
- ・**エンジンを切ってお待ち下さい**
- ・**停車・発車時のエンジン音へのご配慮**もお願いします



いくせい塾すぐ前(西)の道は通学路につき pm1:00~4:00 は車での通行禁止ゾーンになっています。お気をつけ下さい！

Tel.079-431-5777 E-mail ; ikusei-j@carol.ocn.ne.jp

3 学期実力テスト 結果分析



◎5 科目平均点以上割合 **☆いくせい塾の目標：全塾生の達成**
 全塾生の 3/4 以上が達成しています

中学部	2 学期実力	2 学期中間	2 学期期末	3 学期実力
3 年	75%	75%	75%	75%
2 年	75%	73%	71%	69%
1 年	89%	80%	80%	71%

◎5 科目平均点比較 (塾平均－学校平均)

全学年； 基本の確認とミスの減少を徹底する必要あり

中学部	2 学期実力	2 学期中間	2 学期期末	3 学期実力
3 年	+29.9 点	+33.2 点	+25.7 点	+25.0 点
2 年	+32.2 点	+31.9 点	+26.3 点	+29.7 点 ↑
1 年	+43.9 点	+40.4 点	+48.9 点	+35.4 点

◎5 科目学校順位 [上位 1/3 割合]

真の実力には、学習時間の壁をクリアしなければなりません！

中学部	2 学期実力	2 学期中間	2 学期期末	3 学期実力
3 年	25%	42%	25%	33% ↑
2 年	36%	40%	29%	44% ↑
1 年	40%	40%	40%	36%

☆新学年に向けての準備

3 学期のテストは、1 年間のまとめになることがほとんどです。今までに学習してきた内容の理解を試されます。学年が上がると、また新しいことを学習します。1 年、2 年内容の積み重ねの上に新たに学習しますので、現学年で不安のある内容は、今の段階でしっかり復習をすることが重要となります。量が多くなるので、計画的に進める準備が必要です。

天賦の才を開花させる
 自己責任・自己管理、そして自己実現をサポートする

☆学年別・教科別の考察

中3	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+6.5 点	+2.9 点	+0.6 点	+5.6 点	+5.4 点
平均点以上	75%	75%	75%	75%	67%

〔全体〕塾平均点－学校平均点

総合的な内容が出題されるようになってきました。1，2年での内容の復習も含めた学習を心がけてもらいたいと思います。本番の入試を残すのみとなります。**良かった人は、今回のテストの受け方をしっかり分析して、本番に臨みましょう。**今までに準備したことを振り返り、**成功したテストをイメージすることが結果につながります。**

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

入試問題を解いている意識で、時間配分・解く順番等の訓練をする最後のテストです。色々な場合を想定した、イメージトレーニングをしてもらいたいと思います。

中2	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+11.0 点	+8.1 点	+2.3 点	+4.7 点	+3.4 点
平均点以上	69%	63%	44%	69%	69%

〔全体〕塾平均点－学校平均点

実力テストのように、範囲が広いテスト対策のためにも、得意・不得意の單元ごとの分析は、しっかりと確認することが重要です。

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

受験を意識した実力テストへと移行していきます。3年内容には、今学習している内容を含めた総合問題が出題されます。1回1回のテストでは、**戦略を含めた準備を心がけていくことが大事**になります。

中1	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+5.5 点	+12.1 点	+2.8 点	+9.7 点	+5.4 点
平均点以上	57%	86%	57%	86%	64%

〔全体〕塾平均点－学校平均点

全体的に平均点が高かったテストです。ミスでの減点が大きく順位に影響してきます。普段からミスを減らすための方法を考えておくことが重要です。

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

5教科全てにおいて、平均点以上を目標とします。学習したことは、**その週の内に復習**し、理解・定着まで練習しておきましょう。範囲が広くなれば、調べの時間が足りない現象に陥りやすくなりますので、**テスト調べ期間は、見直しに集中できる準備が重要**です。

受験テクニックを伝授するスライドを作成

特に、数学でパニックをおこさないようにイメージトレーニングします

個人差もありますが、最も“焦る”教科は数学のようです。「焦るなよ！」と自分に言い聞かせても、内申書に余裕のない受験をしていたら、更に焦ってしまいます。合格したい気持ちが強いほど焦ってしまいます。では、どうすればいいのでしょうか…？

まだ1カ月以上ありますので、“想定”をすることで、“パニック”は起こりにくくなります。では、どのような想定をすればよいのでしょうか…？

孫氏の兵法です。「彼を知りて己を知れば、百戦してあやうからず。」

彼とは入試問題になります。もちろん、**昨年度の問題だけでは不十分**です。少なくとも3年分、5年分を分析するならば、兵庫県の数学の入試の特徴が観えてきます。1回見ただけでわかる人はいないと思います。**何回もやり直すことで、受験問題の構成や作成者の意図が見えてくる**ものです。そのレベルまで準備すれば、孫氏の兵法の意味も分かってきます。

実際、そのレベルまで準備する受験生は、10%もいないでしょう。**やれば絶対に有利になるのになかなか実践しないものです。**そこで、いくせい塾ではサポートすることにしています。

本来は、来年度より本格始動できるように計画をしていましたが、昨年度、実力を発揮できなかった塾生が複数いましたので、念のために前倒しにすることにしました。

数学は、『方程式』『確率』『関数』『図形』の大問4題を選択しました。

解法テクニックは、スライドショーを駆使して、過去の授業ノートを挿入しています。

臨場感が沸くように、時間配分を意識した**受験テクニック**を何度も教えます。そして、どのような場面で焦るのかをイメージできるように構成しています。

入試は、時間を点数に変換していくゲームのようなものです。まずは、**パニックをおこさないための戦術**を理論的に体得します。“墓穴を掘る”や“地雷を踏む”ことがない道の選択を理解します。少々のミスは許されますが、絶対に踏んではいけない“地雷”や“袋小路”を事前に体験することと、元に戻るために捨てる勇気・切り替えるトレーニングができます。

予定として、すべての単元が終了した後のStage3の時間を、毎回大問1台ずつ4回に分けて1/26~1/16で実施します。繰り返しスライドショーで見ることによって、**失敗しにくい判断力**を養成していくことになります。

現在、理科『水溶液とイオン』の入試解説も作成中です。

できうる限り、本年度生が有利になるサポートをしていきます。

(オーナー 永井)



卒業生の田上様より
地球儀を頂きました。
(自習棟 Blue Room)



中3 内申確定、本番に最高の発揮力を！

1 月実力テスト明け、最終内申が確定しました。

残り約 40 日は、第一志望校に合格するための学習計画をしっかりと把握し、やるべきことに
こころを込めてやり続ける日々の**継続が大切**です。

そのためにも、**心身の健康・健全**が大前提となります。受験講習では、

- ① 入試本番にパニックを起こさない受験テクニック伝授
- ② 本番をイメージした、基礎確認と模試受験
- ③ 採点・分析→取りこぼしの原因と解き方確認
- ④ 取りこぼし問題は三回解き直す！

にウエイトを置いています。

合格ライン以上で安定する結果を体験し続けていることが、自信を生みます。

「**もうこれ以上のことはできない！**」というレベルの毎日を過ごすことによって、やや開き直
りの境地となり、ミスゼロに近づけると考えます。個人差はありますが、週日 4 時間 土日
は 8 時間の安定した学習時間確保を標準と考えています。

さて、**入試本番を意識した生活モード**に入ってきましたか？

“11 時までに寝て、6 時に起きる！”

入試は 9:00 スタート！ 緊張の中、入試終了までの**長時間、高い集中力**が要求されます。

脳を朝 9:00 には活発に動き、15:30 まで耐えうる状況に準備することこそ、重要な時期だと
考えています。

私立入試では、**思いっきり緊張**して入試本番を体験して下さい。

最高に緊張→合格した経験が、公立入試本番に向けて**度胸が据わる**と思います。

中2 実力テストに対応する受験勉強のスタートを

1 月実力テスト数学の学校平均点は 42 点（神吉中）、急激な平均点低下・出題傾向の変化に
戸惑った生徒も多くいました。（**兵庫県公立高校数学入試問題平均点は 50 点**です）今後の実力
テスト数学の平均点も低くなりますので、良い経験にしなければなりません。

「**一次関数**」から、数学に苦手意識を持つ生徒が多いです。

塾＋学校授業だけで解けていた問題が、応用実践問題の演習が必要になることが増してきます。
つまり、学習習慣・学習方法・本番の受け方等を変えなければ、現状維持が難しくなります。

また、既習範囲が増えていますので、**いつ・何時・どこから出題されても正解できるように
基礎練習の継続**が必要です。

解き方手順や公式を忘れていた問題が平均して 20 点程度あったと思います。

これから中3夏辺りまでに、体が急に大きくなったり・声変わりをしたりして、心身が大きく
成長する時期です。この時期は脳も発達（記憶力が増大）し、成績を上げる最良のチャンス
とも言われています。“やる気”を引き出しやすい時期ですので、個々の将来のビジョンを
できるだけ問いかけていきたいと考えています。

中3生と一緒に勉強できる期間も、残り 1 か月になりました。受験生の学習姿勢を間近に見
られる最高の環境が毎週土曜日の夜（自習棟）です。できる限り積極参加がお勧めです！

中1 学年末テストで自己ベスト更新、2年生への土壌を肥やす

9月から5名の待機生が合流しました。

やっと既塾生に追いつき、15名の良い競争が起こっています。

Stage3では、半数以上が十分に準備をして正解率80%以上を維持しています。

真面目・素直・元気の賜物でしょうか。

まだ80%に達していない人たちも、毎週目標を決め、**毎日少しずつ計画的に準備**できるようにサポートしていきます。

☆中1最後の学校テストで成果を出すには…？

- ・「必ず結果を出す！」という強い気持ちで臨む
- ・学校課題は日頃から進め、1週間前には完了しておく
- ・いくせい塾のテスト対策メニューを全制覇！

スタッフ一同、学力アップメモテスト対策編の浸透に努めて参ります。

体力・気力を万全の状態に調整されることがお勧めです。

【小学部】〔中学校で花咲く学力養成を重視しています〕

月曜日 6年生〔中学準備コース〕

- ① 中学での学習方法やシステム・教材の活かし方を習得する
- ② 数学「正負の数CB」達成テスト合格
- ③ 英語「100単語」暗記で自信創造



を目標に、1月よりスタートしました。新鮮な気持ちで、意欲的に取り組んでいます。

帰塾後にノート等を開いて復習する習慣はついてきたでしょうか。

家族や友人に何を習ったのか説明することも良い復習の機会になります。

時間に余裕のあるこの時期に、**よい習慣をつける**ことが大切です。

☆2月は、特に下記3点を重視します。

- ・勉強する目的を、明確にする
- ・確認テスト準備は、毎日適量を計画的に進める
- ・確認テストの不正解は、返却日当日にやり直す

いくせい塾の**ルール・システム理解とその活用**が成果を大きく変えます。

それらを、学ぶ時間を確保しています。

何を学んできたか、是非問いかけてあげてください。

親子の良いコミュニケーションツールの一つになることを願っています。

◎2月27日（火）より、夜時間帯〔19:00～21:30〕になります。

27日（火） 「正負の数B」達成テスト予行演習

28日（水） 「正負の数B」達成テスト

3/2（金） 「100単語」テスト

3/6（火） Stage1 start！ ※中学部への進級許可を得た人対象

入塾後ワンランクUPを実現 再びワンランクUPを！

(学年) 中学2年 (志望校) 未定

いくせい流実践により、数学で自信創造→モチベーションUPした症例

テスト	国語	社会	数学	理科	英語	5計
3学期期末	+5	±0	±0	-15	+25	+15
1学期実力	-20	+10	+5	±0	+30	+25
1学期中間	+5	-10	±0	±0	+30	+25
1学期期末	-5	+5	+10	+15	+35	+60
2学期実力	-15	+10	+5	+15	+25	+40
2学期中間	-20	+5	+10	+10	+25	+25
2学期期末	±0	+5	-10	+5	+25	+25
3学期実力	-15	+5	+20	±0	+25	+35



※学校平均点差は5点単位

清水塾長の分析&アドバイス

① 真面目・素直な性格より、入塾後ワンランクUPを達成

〔原因〕春期講習では数学最優先+理社学習法の習得を達成目標に素直に取り組んだ。

新鮮な気持ちで、学習量の増加・テスト勉強のやり方上達により目標達成！

〔対策〕理解力はあるものの、自ら湧き出す目標が不明瞭なために まだミスでの減点が多いことを確認→ミスしない学習法の上達を更にサポートしました。

② 1学期期末テストで大きく躍進し、その後停滞傾向

〔原因〕金メダルの後のオリンピック選手のように、一度大きな目標を達成した後再び頑張り続けるきっかけが見つからないまま時間が経過。

2学期期末テスト数学で平均-10点を体験したことがやる気に火をつけた。

〔対策〕多くの人が、中2秋より「一次関数」「三角形」「確率」の理解に苦戦します。

今まで同様の学習量・方法では対応し切れず、不振を体験→自信喪失→やる気減退の流れに陥りやすい時期です。

① 「自信回復したい！」という本人の強い意志が大前提

② 基本からしっかり・丁寧に学習する方法を実践する

③ 解る問題が、いつでも正解できるように3回は繰り返す

を、信じて実践し続ければ必ず回復すると考えています。

③ 更にワンランクアップ、平均点＋50点以上で安定を

〔原因〕 冬期講習の頑張りで数学30点UPするも、理社の学習時間減少と国語の苦手意識（学習不足）により5計は10点UP止まり。

〔対策〕 油断せず数学学習法を継続しつつ、国語に目を向けましょう。

勉強すれば必ずUPします。

特に定期テストでは教科書・ワークから出題されますので、毎授業の復習・基礎知識の暗記（漢字・語句・文法・表現技法・作者名等々）を習慣化しなければなりません。

テスト対策では、過去良問を十二分に解くことにより万全の準備が可能になります。

5計平均＋50点以上で安定すれば、加古川北高以上の学力レベルになります。

◎ アドバイス

苦戦した人の多かった**数学テストで、30点UP**できたことは大きな自信にしてください。

学校課題は毎日コツコツやり進め、テスト範囲の出るころには仕上げておく必要がありますね。

中2最後の学年末テストで、もうワンランクUPを実現し、良い流れの下中3受験生に突入できるようにサポートします。

自ら湧き出す将来の夢を思いめぐらせ、明るい未来を大切にしてもらいたいです。



2月の学力アップ memo VI. 自立

タイトル	本文
① 脱！責任転嫁	問題解決の近道 自分の問題を他者の責任にしていない
② 自己責任	精神と肉体の維持 自分の責任で寿命を全うさせている
③ 自己管理	健全生活の安定・維持 初期変化の兆項をチェックしている
④ 問題意識	成長し続ける原動力 いつか解りたいと疑問を持ち続けている
⑤ 自立訓練	自分でできそうなこと 他者に依存せず行動に移している
⑥ 未来像	やりがい・特性・適正 所得も含め職業を考えている
⑦ 入試情報	日程/受験者数/出題形式 人の噂話に流されず自ら調べている
⑧ 合格路線	前年度データを活用 学校百人換算順位を把握している
⑨ 内申書	入試前のアドバンテージ 合格に必要な合計点を把握している
⑩ 傾聴力	賢明な先生や先輩 アドバイスを素直に受け入れている
⑪ ライバル設定	身近にいる目標 前向きに努力する意欲が生まれている
⑫ 合理的思考	高確率で結果を創出 科学的根拠に従った発想もできる
⑬ 問題解決能力	論理的な思考・行動 解決の道筋を冷静に考えている
⑭ 基本重視	現役国公立合格の発想 教科書の範囲は全て理解している
⑮ 苦手克服	乗り越えたい難問 逃げずに計画的に攻略している
⑯ 自立型個別学習	3stage 方式を習得後 自分流で達成テストを合格できる
⑰ スピードトレーニング	達成テストの合格感覚 反復訓練で自信を創造している
⑱ メン・トレ	精神強化の鍛錬 緊張に向き合い慣れるように取り組んでいる
⑲ 自信	安定した精神状態 過大過小なく等身大の安心感がある
⑳ 軌道修正	精神安定のルール 生活の乱れは速やかに修正している
㉑ 教養 BD	関心ある分野の探索 毎月1番組以上視聴している
㉒ 外国語	現実生活で活用 業務レベルを目標にしている
㉓ 留学	学力が必要条件 表現の必要性に気が付いている
㉔ 自己投資	学業に必要な資金 自分の可能性に出し惜しみしていない

※学力アップ memo は、永井医師の自らの医大生経験によるオリジナル指導マニュアルです

2月の名言

真摯に生きた偉人の知恵から学ぼう！

日にち	偉人(国籍)	名言
2(月)～ 7(土)	アジャン・カンポン (タイ)	体は病気でも、 心まで病気になる必要はない。
9(月)～ 14(土)	湯川秀樹 (日本)	一日生きることは、 一歩進むことでありたい
16(月)～ 21(土)	ブッダ (インド)	今日できることは明日に延ばさず、 確かにしていくことこそ 良い一日を生きる道である。
23(月)～ 28(土)	マハトマ・ガンディー (インド)	弱いものほど相手を許すことができない。 許すということは、強さの証だ。



2月の教養プログラム

ロボットではない人間には、モチベーションの機会（動機）が重要になります。
社会参加の準備期である中学生には、自分たちが生きている世界に関心を持ち、希望が持てる情報を提供し続けることが重要です。

人にはタイプや関心の違いがあり、社会において役割分担をします。

社会では、自己主張しなければならない場面にも遭遇します。TED を中 1・2 では月 1 回、中 3 では 2 回視聴して、英語力だけでなく、人を説得する技術を学びます。

	日にち	タイトル	内容
中3(月)	5	幸福と成功の意外な関係	私たちは幸福になるために努力し成功しなければならないと思っていますが、逆だとしたらどうでしょう？ 目まぐるしくも楽しい講演で心理学者のショーン・エイカーは、幸福は実際生産性や成功の可能性を押し上げるのだと言っています。（塾長）
	12	宇宙ゴミ戦争!? スペースデブリの脅威	大量の宇宙ゴミが地球を覆うように飛んでいる 宇宙ゴミ、スペースデブリとは何でできているのか？ 人工衛星の衝突は、私達の生活に様々な影響を与えます これからの宇宙開発についてどう考えますか？（事務長）
中2(水)	7	マット・カッツの30日間チャレンジ	ずっとするつもりでいたこと、したいと思っていたことなのに、なかなかやれないでいることはありませんか？ マット・カッツは試しに30日間だけやってみてはと言います。この短い軽妙な講演では、目標の設定と達成について考えるための素敵な方法が提案されています。（塾長）
	14	巨大災害 スーパー台風	風と高潮で甚大な被害をもたらす「台風」 地球の気温変化によって増大していく どのような脅威となるのか？ 台風発生のメカニズムは？（事務長）
中1(金)	2	西ノ島の噴火が大陸を生む!?	40年ぶりに噴火し、拡大を続ける小笠原諸島の西之島 溶岩に含まれる、海洋火山としては珍しい岩石は？ 大陸形成の謎を解くヒントが隠されている 西之島は大きくなって大陸になるのか？（事務長）
	9	水中の驚き	デイビッド・ガロによる暗黒の深海に棲む、色を変えるイカや完璧にカモフラージュするタコ、そしてタイムズスクエア並みのネオンライトを発する魚などの驚愕の映像をお楽しみください。（塾長）

※TED は、背景が赤の欄のプログラムです

Kanki 事務長の 新作教材

中3化学 2017年 兵庫県入試問題 3『水溶液とイオン』

数学だけでなく理科の受験解説も、現在作成しています。

理科や社会は、教科書やワークで学習した内容を理解していれば解答できる問題がほとんどです。基本的な用語や知識は、普段からしっかり暗記しておき、直前に総チェックできるように準備をしておくことが重要となります。

水溶液とイオンでは、主とする内容は中3で学習します。しかし、小問1つ1つを確認していくと、1年生で学習した“水溶液の濃度計算”や“密度”、2年生で学習した“電気分解”の範囲が含まれていました。

総合的に“化学”という分野から1～3年生の範囲がすべて出題されています。

苦手分野をそのままにしておくと、いざ出題されたときに慌てることになりかねません。基礎知識の部分は、総合して解答できるような準備が必要です。

理科や社会は、単元がはっきりと分かれています。

内容ごとに得意・不得意は分かりやすいと思います。苦手分野は、確認テストを通して基本的な知識・暗記事項を徹底して整理しておくことをお勧めします。

得意分野は、応用内容などの過去問をチェックして、得点力を伸ばすことを考えても良いと思います。

理科の入試問題では、選択問題が多く出題されているように見受けられます。

2017年度の入試では、**全46問中35問が選択問題**でした。

実に、**75%以上が記号で解答**する問題となります。

選択肢の内容は様々ですが、中には全ての問題が分からなくても正解にたどり着けるような内容も含まれています。逆に選択問題としながら、実際に計算していかなければ正解にたどり着けない問題もあります。

選択問題の解き方・考え方をすることで、しっかりとした得点源になることと思います。

受験テクニックのSSでは、選択問題の解法も作成していきたいと考えています。

SS教材の活用

自立型個別学習では、タブレットより保存教材を一覧で見ることが可能です。

SS教材検索は、教養BDと同様の形式で作成しています。

教材理解にかかる時間を、意識できるように工夫しています。

ワーク解説や過去良問解説のアニメ・イメージングは、時間を表記しています。

1年をかけて、1～3年生の全範囲のSS教材が網羅されました。

受験や実力テスト対策において、前の学年の単元からも復習できるようになっています。

ワーク解説や過去良問が充実していくことで、より勉強への意欲を増してもらいたいと思います。何度も繰り返し見ることで、知識の整理の仕方や学習の仕方が自然と身についてくると思います。

いくせいオリジナル教材 〈1月作成分〉

より効率的に学習できるように大幅に改定しています

学年	科目	種別	タイトル	作成者	改定率
3年	理科	授業用 SS	塩化銅の電気分解	永井	★★★★★
3年	理科	授業用 SS	塩酸の電離	永井	★★★★★
3年	理科	授業用 SS	電池のしくみ	永井	★★★★
3年	社会	授業用 SS	米騒動	永井	★★★★★
3年	社会	授業用 SS	第一次世界大戦の国際関係	永井	★★★★
2年	理科	授業用 SS	細胞のつくり	永井	★★★★★
3年	社会	授業用 SS	普通選挙	永井	★★★★
2年	社会	授業用 SS	日本の気候区	永井	★★★★
1年	理科	暗記トレーニング	顕微鏡の使い方	永井	★★★★★
1年	社会	授業用 SS	世界地図	永井	★★★★
1年	理科	色分け線引き	顕微鏡の使い方	永井	★★★★★
3年	数学	兵庫県入試	二次関数	永井	★★★★★
1年	数学	兵庫県入試	方程式	永井	★★★★★
2年	数学	兵庫県入試	確率	永井	★★★★★
3年	理科	兵庫県入試	水溶液とイオン	永井	★★★★★

塾生募集!! 定員各学年15名

- ① 自己責任・自己管理・自己実現をサポートします
- ② 勉強のやり方・成績の上げ方を説明指導します
- ③ 週 7.5 時間の集中で、必ず伸びるシステムです



お友達をご紹介下さい!

感謝の気持ちをこめて、ポイントを進呈させて下さい
 キャンペーン中は入会金が無料。
 紹介されたご家庭もお得です

※ポイントは講習費に充当されます

	ポイント加算
入塾説明終了後	500 ポイント
体験終了後	更に 500 ポイント
入塾後	更に 4000 ポイント

山中先生の Laos 研修 体験 Report

兵庫県立大学環境人間学部二回生 山中大士

一月が過ぎて、早くも二月になりました。

皆さんにとっては、それぞれに大きな山場を迎えるということになると思います。

一年生、二年生は部活動や、勉強面で大きな締めくくりを、三年生は受験といった出来事が待っていると思います。

中でも特に勉強について気になる人が多いことと思います。

皆さんは、「勉強は難しくて当たり前だ。」とっていませんか。

実際に、**難しい問題**もありますが、それは**ほんの一部**だと思います。

特に受験では、緊張も重なり、非常に難しく感じることもあると思います。

しかし、それは大体思い込みからくるものだと思います。

解けなかった問題をやり直して、「あれ、思った以上に簡単だ」と思ったことはありませんか。

後で落ち着いてできたからこそ、解けたのだと思います。

だから、そのような経験を増やしていってみてください。

「やれば出来る」「案外簡単だ」と思うことが、自分の自信や余裕になってくると思います。

「勉強はやり直しから。」だと私は思っています。たとえ、答えを見ながらも、出来たことには変わりはありません。

その次、「見ずに出来たのなら、それは自分の力になっている」ということだと思います。

受験や、テストまであと少しの時間です。

この期間は出来るだけ「やったことのある問題」を解きなおし、確実に出来るようになるまでしてみてください。それが、自分の自信になってくると思います。

私は去年の3月に、大学の海外体験研修で、ラオスという国に一週間ほど滞在しました。ベトナムとタイに挟まれた東南アジアにある内陸国で、発展途上国のひとつです。

なぜ、ラオスへ行こうかと思ったのかというと、

- 英語以外の視点から海外を見てみたい
- 発展途上国と言われる国を実際に目で見てみたい
- プログラムで現地の小学生への模擬授業や、大学生との交流があったからでした。

実際にラオスへ行き、多くの人と関わってきた中で、コミュニケーションや文化の違い、そして、生活の違いなど多くのことを学ぶことが出来たように思いました。

研修では、実際に小学生に対し、日本文化を教えたり、英語の授業をしたりするのですが、私は現地の言葉がわからないままで行ったので、全く会話などできませんでした。

しかし、時間が経つうちに言葉だけじゃなく、**体をつかった表現**が多くなってきました。

折り紙を教えるにしても、とにかく**一緒に折る**こと、英語の単語を教えるにも、その単語が何かを自分で表現するなど、**体を使いました**。

ラオス人民民主共和国

首都：ヴィエンチャン 人口：約 700 万人



すると、少しでも伝えたいことが伝わったように感じ、ある程度のコミュニケーションをとることができていました。

ラオスにいる期間は、英語からラオス語へ翻訳してくれる方がいたのですが、それ以外は、大体このようなコミュニケーションがほとんどで、**片言の言葉と、ジェスチャー**だけでした。

しかし、それだけでも現地の人とは、買い物の交渉や、遊びの仕方の説明、普通の会話など、ごく一部ではありますが、ある程度のコミュニケーションはとることができていたように思いました。

だから、コミュニケーションでは、言葉は大変重要だとは思いますが、それ以外にも、**ボディーランゲージ**と呼ばれるような体を使った表現も、会話をする上では重要で、それは特に知らない言語同士だと、かなり通じ合える部分が多いと思いました。

伝えたいことが難しければ、体を大胆に使い表現すること、これが、外国の人と付き合う第一歩になるのではないのかな、と思いました。

ラオスという**何も知らない国に行くことで、多くの発見を得た**ように思います。たった一週間の出来事で、多くのことを見て感じる事が出来ました。

みなさんも機会があれば、一度違う文化圏へ行ってみてください。きっと多くの出来事に会えると思います。



脳卒中と誤嚥性肺炎

医療質問

「家族が脳卒中後に誤嚥性肺炎を発症しました。
担当医師より言われた延命治療のイメージがわかりません
今後、どのようなことが起こるのか。また、
家族として何ができるのか、医療者とのかわり方を教えてください。」

Dr.Nagai. Answer

(A 経験>10)

○誤嚥性肺炎は、なぜ起こるのか…？

呼吸器（肺）と消化器（胃など）は、外部から必要な物質を体内に取り入れます。
消化器は口ですが、呼吸器は、進化の過程で鼻だけでなく口からも空気を取り入れます。
気管と食道の分岐点は“咽喉”です。→耳鼻咽喉科が専門
食べたものが気管に行かないために、喉頭蓋という“蓋”があります。
この動きに乱れが生じると、飲み込んだ食物が気管に入り込むことがあります。
カッチリと蓋が閉まるには、脳からの運動神経の指令が必要になります。脳卒中（梗塞＋出血）により脳がダメージを受けると、機能が果たせなくなるケースがあります。
食べるたびに、肺に食べ物が流れ込んでしまう誤嚥が起こります。
肺は、ほぼ静菌状態（菌はいるが免疫が抑えている）です。
誤嚥による食物に付着する細菌やカビの仲間が侵入して、それらの数量は多くなります。
また、口腔内限定で住んでいる細菌（常在菌）が、肺に移住することにもなります。
新たな細菌は、肺の免疫を凌駕して繁殖しやすくなります。→感染症を発病

○誤嚥性肺炎は、どのようにして治すのか…？

感染性肺炎の原因は、大きく分けて細菌性・ウイルス性・真菌性があります。
俗にいう“抗生物質”は、抗細菌物質です。誤嚥で発生するものの多くは細菌性です。
酸素を好む好気性菌の原因が多いのですが、嫌気性菌が主となる肺炎もあります。
抗生剤はすべての菌に効果があるわけではなく、殺菌できる菌とできない菌があります。
（1つの抗生物質で、すべての細菌に有効なものはありません。）
最初は多種類に効く抗生剤を使用して、効果が不十分なら抗生剤の種類を変更していきます。
その間に、喀痰培養で原因菌を同定できることが望ましいです。
肺に細菌が増殖すると、炎症により有効な肺胞数が減り、体に必要な酸素が不足します。
その時は、効率をよくするために、気管挿管を勧められることがあります。
問題点は、治癒しないときに抜去してもらえないことです。→殺人行為に相当
挿管をしていればかろうじて生きることができているが、免疫が弱っているケースでは肺炎は治らず、いつまでも抜管できないという状況が、数カ月続くこともありうるのです。
ですから、家族はその判断に迷うことになります。
脳卒中後の最初の肺炎では、延命治療を希望するケースは多いように思いますが…。

○誤嚥性肺炎が、治癒しなかったらどうなっていくか…？

問題は、抗生剤を延々と使用することによる“耐性菌”の出現です。
菌の側からすれば、なんとか生き残りたいものです。
細胞分裂は頻回に起こっていますので、遺伝子変異で抗生剤を逃れる個体が出現してきます。
その突然変異株は生き残り、分裂を繰り返して、勢力を挽回していきます。
その状況下では、前に効いた抗生剤は無効という状況になります。

抗生剤を使用するときは、効いていないのにいつまでも処方することは禁物になります。

肺炎を繰り返したお年寄りで、早期に見つけても抗生剤が無効なケースを体験します。家族から話を聞くと、何度も入院して抗生剤を長期点滴していたケースがありました。すべての抗生剤が無効になれば、人体は細菌の餌となり死んでしまいます。抗生剤乱用の怖さの一つがここにあります。

○誤嚥性肺炎を予防するには…？

嚥下には、いくつもの細かい筋肉の連携運動が必要になります。

咳込む、むせるということは咳反射が機能していることで良い反応です。

逆にむせない、咳込まなければ、神経筋肉が機能していないことになります。

麻痺している筋肉がどこまで回復するのか、又はしないのか？

まずは、嚥下のリハビリをします。それはやってみて評価するしかありません。

不十分な嚥下機能でも、ゼリーのような半固形食なら誤嚥しない場合があります。

また、薬の副作用を利用して咳反射を誘導する方法もあります。

（降圧薬のACE阻害薬、脳梗塞なら抗血小板薬のシロスタゾール）

嚥下関連筋が調和して動かなければ、経口摂取は自殺行為になります。

中心静脈栄養（IVH）で必要な栄養を点滴で入れるか、お腹から直接胃へ瘻孔を作成して、注入栄養をする胃瘻（PEG）になります。

長期使用が必要と判断され、免疫力を考慮したときは胃瘻が選択されます。

口は、食べるためのものではなくなります。

○家族のサポート・医療者との連携

脳神経がダメージを受けることは（部位にもよりますが）、外部よりの適度な刺激はリハビリになります。家族が面会時間内で会いに行くことは、良い刺激になる可能性が多いです。ストレスになる場合もありますので、主治医と相談することが有効です。

回復後、問題になるのは誤嚥ですので、食べさせ方や誤嚥の兆候などは、知識として知っておくことが有効です。リハビリの先生（コメディカル）に聞くことは役に立つと考えます。

最初の大病の時は、患者さん家族は状況がわからない不安より、**医療者との良い関係を作りたい**と思われるケースが多いです。

現状報告や今後起こりうる事態を説明するのは、主治医の業務になります。（看護師などコメディカルには責務はありません。）病状を把握するのは、主治医とその上司の責任者です。治療計画も医師が判断して実践していきます。

よく耳にする患者サイドの不安不満は、医師とコミュニケーションがとりにくいということです。（逆に医療サイドの不満は、モンスター家族の存在です。）

医師は忙しい立場にありますので、廊下で会って、その場で突然説明を要求されるのは、迷惑なことがあります。しかし、予定は調整することが可能です。

家族は、受付や看護師を通して、ムンテラ（家族への説明）希望を要求します。

主治医は、できるだけ早く、ムンテラを設定するのが責務となります。

しかし、すべての医師がやさしく丁寧なキャラクターであるとは思いません。

不運？な場合、家族としては主治医を代えてもらいたいと思うこともあるでしょう。

辛抱しきれないときは、上司（人事権のある責任者→事務で聞ける）に話すことは可能です。転院を希望されるケースもあります。

患者さんやご家族の権利ですので、主治医は転院先へ紹介状を作成することになります。

一度、可能性があると信じたことは、いくせいイズムで毎日コツコツとやり続けることです。患者さんも家族も、希望や喜びを生み出すと考えます。

※いくせい塾オーナーDr.Nagai（内科）が、塾生・保護者の質問にお答えします